

よみがえる25年前

1990年
12月
1991年
1月
これは今から
25年前を
記憶や資料
をたよりに
ひも解いて
みようとする
企画です

今回はクラブ会報や編集者に送られた、O-JAPANの読者の声を中心に掲載しました。今、O-magazineにこのような読者からの声は全く寄せられません。オリエンテーリングやO-magazineに対して熱意が低下しているのでしょうか・

オリエンテーリングの底辺拡大

今、秋の東海自然歩道歩け歩け大会が毎日曜日に各地で開催されている。ほかにも中日歩け歩け大会等、歩く大会が数多くあり、毎回千人2千人という参加者がある。またジョギング大会もご存じのとおり数えきれないほど開催されており、これもまた多くの参加者があります。

ではオリエンテーリングはどうでしょう。千人を超える大会は数少ないのが現状ではないでしょうか。歩くこと、走ることを楽しんでいる人がこんなに多いのに少々さびしい話です。もっと気軽に、もっと簡単にオリエンテーリングを楽しみ経験してもらおう場所があってもいいのではないのでしょうか。競技スポーツとしてレベルの高い、質のいい大会も大いに必要だと思います。しかし、そういう大会も底辺を拡大していかないと、いつかは開催できなくなってしまうのではないのでしょうか。

今のオリエンテーリングは素晴らしい地図と統一された規則の上で開催されています。それが初心者にはわかりづらく、入りこみにくいかもしれないと思います。たまにはO-MAPではなく、地形図をそのままコピーした白黒の地図でのんびりとハイキングを楽しみながら、ジョギングを楽しみながら思う存分自然を満喫しながらできるようなオリエンテーリングを開催してみたいかたがでしょうか。

(愛知県のオリエンティア)

「O-JAPAN」のファンです

一日千秋の思いで到着を待望し、配達されるや、即座に読みふけます。今日のはうれしかったです。一つは10月号が10月30日に届いたこと、少しずつ10日刊が表記どおりに接近されるのを期待。

2つ目は8ページの写真に私の姿が写っていたこと。ちょっとお先にと、追い越しにかかっている処。

そして、最高に共鳴できたのが「体協加盟論」。田口さん*の持論がカナダのスポーツBC視察記で更に説得力を増しており、ご提唱の方向こそが正道だと改めて納得しました。

偶然、大田町体協→大田市体協に深く関与し、私の地域ではメリットを享受し続けており、立派に市民権をオリエンテーリングが得てもおります。「公認指導員」の値打ちは単発的な普及イベントを手掛けるだけではなく、クラブづくりをし、体協の中に位置づけ、市民権を認めてもらうように努めるべきだというポリシーを持つべきだと思っています。私はそのポリシーで、楽しみながら体協運営に関与し続けております。

私の夢は、末端体協に結びついたクラブとともに、オリエンティアとしてハイレベルの(エリアの広い)クラブも欲しいと思い、その構築を考えています。後者のほうは、島根県全域をエリアとするクラブ(都道府県対抗戦などを視野に入れたクラブ)づくりです。

*田口さんとはO-JAPAN編集者です。

(島根県のオリエンティア)

日本オリエンテーリングへの激励

親愛なる田口肇様

日本のオリエンテーリングを国際的レベルへ向けて展開させようとする人々および団体に向けたこの手紙の内容の和訳を希望してあなた宛てにさし上げます。(略)

これまで日本では大会それ自体は完璧に運営されてきたし、見たところでは時間やマンパワーのないところは事前にプリントされたスタートリストやチェックカードがつくられることでカバーされていたようです。スタートとフィニッシュ地域、速報はそれ以上に傑出していたし、駐車場にしても最高でした。では何がうまくいっていないのでしょうか。

問題はオリエンテーリングそれ自体にあるのです。残念ながらそこには大きな問題となる分野があります。すなわち、地図とコース設定です。そして遇々これらはオリエンテーリングにおける最も重要な要素なのです。少なくとも朝日大会のような大きな大会では地図とコース設定の質は国際水準以上のものに相当すべきです。

(以下具体的な提言がありますが紙面の都合で略します)

(ラウノ・シロラ)

時の話題

12月2日TBS
記者の秋山豊
寛がソ連のソ
リューズで日
本人初の宇宙
飛行

1月14日陸上
競技の市川華
菜誕生

1月17日多国
籍軍のイラク
空爆により湾
岸戦争ぼっ発

1月19日登山
家田部井淳子
が女性として
世界初の6大
大陸最高峰登
頂

1月29日競泳
の鈴木聡美誕
生

1月29日小説
家井上靖死去